

FAI Microlight & Paramotor Commission

CIMA2019 会議レポート

2019年11月21日 22日 23日

ルーマニア ブカレスト

マジェスティックホテル

JPMA 理事 五十嵐亮弥

パラモーター部会会議

Thursday 21st November 09h00 – 16h30

マイクロライト部会会議

Thursday 21st November 09h00 – 16h30

通常会議 CIMA FAI Microlight & Paramotor Commission

Friday 22nd November 09h00–14h30

Saturday 23rd November 09h00–14h30

Parliament buildings と Clinceni Airfield ツアーが 22日と23日の午後に行われた

1 CIMA 会長ウルフガング氏より挨拶

黙祷 CIMA 関係者のために

ルーマニア航空協会より歓迎の挨拶

出席者と委任

各国の出席を点呼

委任を含めて 25ヶ国の参加となった

FAI 事務局 マーカス氏

CIMA 会長 ウルフガング氏

CIMA 副会長 ロブフェージ氏

CIMA 事務局 イギリス バーニータウンゼント氏

CIMA マイクロライトコミティー チェコ ピーター氏

CIMA パラモーターコミティー ポーランド ボイテック氏

カタール

サウジアラビア アリ氏

イタリア

ブラジル グスタボ氏

ドイツ

オーストリア

アメリカ トム氏

ルーマニア

ベルギー

ノルウェー

スウェーデン

日本 五十嵐

ポルトガル

ハンガリー

スイス

フランス

委任 スペイン、中国、エジプト、デンマーク、リトアニア、オランダ

1. 会議の成立に関して

2018 年の CIMA 会議の後に問題は発生していないと報告。例会以後のさらなるコメントはありません。

by CIMA 事務局長のバーニータウンゼント氏

a) CIMA 執行部改選

投票用紙が配布され、投票は最終日に行う。

2 FAI レポート

FAI の状況説明、スポンサーが終了したりで収入が減って財政が逼迫している。

イベントはほとんどボランティアに頼っている状況です。

by FAI 事務局マーカス氏

3 CIMA 執行部レポート

チームメダルのシステムに関して、再考が必要ではないかとの指摘

プロテストの供託金の返還システムに関して、再考が必要

エントリー費の返還に関して、再考が必要

マレーシアのデリゲートが CIMA の会計をやっていたが、コンタクトが取れないので解任された。

by CIMA 会長ウルフガングリントル氏

a) Appeal on WMC2018

デリゲートのミーティングに関して、インターネットビデオ会議にしたらとの提案に関して、実際に検討されたが膨大な設備に経費がかかるので現在は行っていない。

4 各国代表のレポート

CIMA wiki に事前にアップしている。 <http://wiki.fai.org/pages/viewpage.action?pageId=36307001>
各国からのレポートが提出されているが、時間が無いので特に取り上げての説明は必要無いとして、了承された。

5 2019年の選手権に関して

特に無し

6 2020 FAI 年の選手権立候補に関して

6.1 11th FAI World Paramotor Championships 2020, Brazil

10th-20th June 2020, Linhares Flats, Brazil. Presentation from Ricardo Maciel.

ブラジルで開催予定のパラモーター世界選手権大会に関して、

ローカルレギュレーションとタスクカタログが提出されていない。

未完成の物が届いているので、4週間後には正式な形にしたいとの報告。

ブラジルのデリゲートはこの件に関してノータッチだとの発言。

CIMA としては、オーガナイズが心配なので、サポートをする CIMA メンバーを選出するとした。

6.2 17th FAI World Microlight Championships 2020, Czech Republic

August 2020, České Budějovice – letiště Hosín. Presentation from Petr Jonáš.

チェコにて開催予定

7 FAI Championships 2020 – Bids to be confirmed

7.1 4th FAI World Paramotor Slalom Championships, France

2018年プレナリーで関心の表明が示されました。

7.2 1st FAI World Paramotor Endurance Championships, Estonia

特に無し

8 FAI 選手権 2020 仮入札

8.1 7th FAI European Paramotor Championships 2021

2018年プレナリーで関心の表明が示されました。

8.2 16th FAI European Microlight Championships 2021

立候補無し

8.3 4th FAI Asian-Oceania Paramotor Championships 2021

立候補無し

8.4 Other FAI Continental championships; Americas

立候補無し

9 その他の選手権大会 2020 – 2022

9.1 Asian Beach Games 2020 (Sanya, China) 11 月 27 日から 12 月 5 日

Organised by the Olympic Council of Asia (OCA)

アジアビーチゲーム in 中国

9.2 World Games 2021

マイクロライトとパラモーターは、ワールドゲーム 2021 には含まれない予定。

10 FAI Championships beyond 2020 – 2022

10.1 Classic World Championships

2020 ブラジルクラシックパラモーター世界選手権

10.2 Slalom World Championships

2022 年サウジアラビアスラローム選手権かクラシック選手権をやりたいとの提案

10.3 Classic Continental Championships

立候補無し

10.4 Slalom Continental Championships

2023 年フランススラローム選手権の提案

10.5 Paramotor Endurance Championships

2021 年イギリスでエンデュランス世界選手権をやりたいと提案

11 FAI Air Games

FAI マーカス氏より説明

11.1 5th FAI World Air Games 2022, トルコ スラローム選手権

会場の説明が行われた、スラロームは砂浜が会場で海の上でスラロームを行う。

近くの飛行場まで 3km なのでその他の競技と一緒に楽しめる。

スラロームにはトライクの PL クラスも参加したいと意見から、検討されることとなった。

11.2 Status of Air Games series and air sport developments

11.3 Task ideas for Air Games format.

12 Update on FAI IT Services

12.1 Competition Management system

12.2 Sporting Licence database

Report FAI representative.

12.3 CIMA wiki

12.4 Report on Organizer Agreement

13 Working group reports

13.1 IT

13.2 World League Cup ワールドリーグカップ結果

by Wojtek Domanski

2019 の結果は

- 1 位 アレクスマティオス フランス
- 2 位 バルトスノウィック ポーランド
- 3 位 ルボスハラマ チェコ

国別の結果は

- 1 位 フランス
- 2 位 ポーランド
- 3 位 チェコ

13.3 Endurance Championships

Barney Townsend will report on 2nd successful British National Paramotor Championships that were run under this format in 2019.

エンデュランス世界選手権に関して

クロスカントリーのナビゲーション競技となる予定で、一日で最大 4 時間飛行する。

2019 年イギリスでテスト競技が行われて、好評であった。

2021 年イギリスでエンデュランス世界選手権を予定している。

バーニー氏

14 Committee reports

14.1 Microlight Committee

ペーター氏

14.2 Paramotor Committee

ボイテック氏

14.3 FRAC – Flight Recorder Approval Committee

FAI 事務局マーカス氏より、

これまで、多くの資金をデータロガー開発に使ってきたが、インターネットの時代に即したシステムに進むべきだとの提案があった。

14.4 S10 Committee; FAI Sporting Code – Section 10 Proposals

by Barney Townsend

スタートとフィニッシュタイム計測に関して

14.4.1. 写真判定 実際の機材が高価なので、検討中

14.4.2. マニュアル測定 3名以上のストップウォッチで計測

14.4.3. 電子式計測 現在使用しているビーム式センサーは誤動作する

14.4.4. スラローム世界選手権を毎年行えないか? by ボイテック氏

現実には運営側と参加者の負担が多すぎる。by FAI マーカス氏

運営費用に関して、全てボランティアなので誰も儲からない。by ポルトガルデリゲート

スラロームトレーニングセンターで、各国のチームがトレーニングできるようにしたい。by バーニー氏

14.4.5. バックトラックに関して

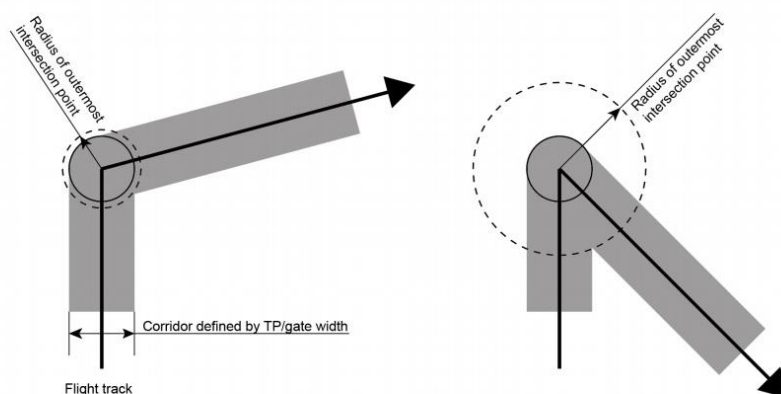
通過パイロンの直径を 1km にすることで、バックトラック発生空域の危険性を低くする事ができる。

しかし、これは通過空域を大きくしただけなので、最短コースに矛盾が発生することになった。

再検討会議の結果

可変バックトラック空域方式が検討に値することが、わかった。

進入通路角度と退出通路角度の変化で、通路のクロスポイントの変化によってバックトラック空域の半径を決める方式が良いと討議された。



14.4.6. マイクロライトの最低離陸速度を 65km/h から 83km/h に変更された。

14.4.7. 得点の計算方法に関して。パラモーター

合計得点の順位ではなく、各タスクの順位を得点として、その合計を総合順位として表彰する提案が採択された。

ナビゲーションタスクやエコノミータスクの得点差が大きく影響するので、順位を得点として扱うとの意見。

しかし、エコノミータスクやナビゲーションタスクは軽視されることになるので、日本は反対を表明したが、順位を得点として扱う方法が採択された。

14.4.8. PL2 のエコノミータスクは行わない。

強風時の着陸が危険なので、場外着陸のリスクを避けるために。

14.4.9. エンデュランス世界選手権に関して

クロスカントリーのナビゲーション競技となる予定で、一日で最大 4 時間飛行する。

2019 年イギリスでテスト競技が行われて、好評であった。

2021 年イギリスでエンデュランス世界選手権を予定している。

15 専門家グループおよび委員会の代表者からの報告

15.1 CIMP

ウルフガング氏

15.2 ENVC

トム・ガンナーソン氏

16 名誉、メダル、賞

16.1 コリブリディプロマ

推薦無し

16.2 アンウェルチディプロマ

スペインのカレンスキナー氏とドイツ デビッドブルーム氏を推薦する。

Karen Skinner (ESP), PF1f, Distance over a closed circuit without landing, 309.93km (Previous record 130.3km, 2011, 137% change)

David BROOM (GBR), Distance in a straight line without engine power (34.54km, new record) The plenary voted to award the 2019 Ann Welch diploma for microlights to David BROOM (GBR).

16.3 ワールドリーグカップ

結果詳細は CIMA WIKI で入手できます。

16.4 その他

17 CIMA 財務報告と予算

17.1 財務状況

17.2 2019 年度の口座内容の承認

17.3 2020 年予算の承認

17.4 2021 予算-ディスカッション

18 その他

18.1 CIMA 歴史

トム・ガンナーソン氏の報告。

19 CIMA 執行部改選

19.1 CIMA President Wolfgang LINTL (GER)

19.2 1st Vice-President Rob HUGHES (GBR)

19.3 2nd Vice-President Kristian DOLHAI (HUN)

19.4 Treasurer Endre MOLNAR (ROM)

19.5 Secretary Barney TOWNSEND (GBR)

19.6 Paramotor committee Wojtek DOMANSKI (POL)

19.7 Microlight committee Petr JONÁŠ (CZE)

19.8 S10 Editor and committee Barney TOWNSEND (GBR) (editor), Rob HUGHES (GBR),
Kristian DOLHAI (HUN) Petr JONÁŠ (CZE) Aref
AL-SHAMMARI (KSA).

19.9 Flight Recorder Approval Committee (FRAC) Richard MEREDITH-HARDY (GBR) (chair),
Krzysztof ROMICKI (POL), Petr JONÁŠ (CZE), Lukas
BEHONEK (CZE).

19.10 IT Working group Richard MEREDITH-HARDY (GBR – chair), Krzysztof ROMICKI
(POL),
Barney TOWNSEND (GBR), Lukas BEHONEK (CZE).

19.11 World League Cup Working group Wojtek DOMANSKI (POL), Agust GUDMUNDSSON (ISL),
Paap KOLAR (EST), Aref AL-SHAMMARI (KSA), Barney
TOWNSEND (GBR).

19.12 CIMA delegate to the FAI Medical Commission (CIMP) Wolfgang LINTL (GER)

19.13 CIMA delegate to the FAI Environmental Commission (ENV) Tom GUNNARSON (USA)

19.14 CIMA Historian:

Tom GUNNARSON (USA)

19.15 Endurance Championship working group: Barney Townsend (GBR – chair), Paap KOLAR (EST),
Krzysztof ROMICKI (POL),
Aref AL-SHAMMARI (KSA),

Jana BOBKOVA

(CZE), Toon HYLEBOOS (BEL).

20 日程

20.1 次の CIMA 全体会議の日付と場所

規則では、CIMA 総会の 2 週間前に、ローザンヌから離れた場所の提案を会長または FAI 事務局が受け取らなければなりません。オプション: スイスローザンヌ-MSI

ローザンヌで開催される会議当初提案された日付: 2021 年 1 月 14-15-15-16。

2021 年のチャンピオンシップの最終承認に入札する国にとっては、イベントの数か月前であり、スポンサーを引き付けるための時間があまりないため。

新しい提案: 2020 年 11 月 19-20-21 日。

20.2 議題の締め切り

総会の 45 日前

20.3 S10 修正期限

総会の 45 日前

20.4 コリブリディプロマのノミネート期限

総会の 60 日前